

ななくにだより



園長コラム『子育てを守る』

ご入園・ご進級、おめでとうございます。平成28年度がどのような一年になるか、お子様の成長を今から楽しみにしておられることと存じます。

人生の土台を作る時期は0才～8才と言われております。その内の大切な1年間を一緒に過ごさせていただけることを何よりも喜びとして、職員一同、お子様に寄り添って参ります。

さて、今年度最初のコラムですので、今井保育園の保育を紹介させていただきます。

当園では「子育てを守る」を合言葉に保育を考えています。これは「子どもは自ら育つ力を持っている。大人はその育つ力を信じ、援助することしかできない」という考えを出発点として、育とうとする力を守る「見守る保育」を目指す、というものです。

今井保育園では、0才～3才を乳児、4才～6才を幼児としています。乳児期は「自己肯定感」、幼児期は「自己実現感」が育つ保育を目指しています。

自己肯定感とは「私は生きていていいのだ」という感覚で、保護してくれている大人からの無条件の愛情が作り出すと言われております。

そして自己実現感（この言葉は今井保育園独自のものです）とは「私は何かを実現できるのだ。たとえ何度失敗したとしても。」という感覚で、自ら考え、選択し、決断することを繰り返し行なうことで備わっていくと考えられるものです。

さらに詳しく。

自己肯定感「2才までの課題」をこなすことで獲得できる、と言われております。「2才までの課題」とは大人からの「私はあなたを無条件に愛している」という体験を積み上げるということです。条件をつけて愛情を与えるようなこと、例えば「〇〇したから良い子」「××したら△△していい」というような条件をつけてはいけません、と言われております。

0～3才の時期は様々な「いたずら」をします。この「いたずら」は「大人から見た時に望ましくない行為」ではありますが、子どもからすれば「興味を持ったものに対する観察や実験」です。この行為を「無条件の愛情で良きものとして捉え、許してくれる大人」の存在が、自己肯定感を育てます。

ものをなめる・かじる・放るなどの行為から始まり、座る・立つ・歩く（走る）などの動作、そして最後は「おむつをはずす」という決断に至るまで、子供本人にすればすべてが実験なのです。

その間大人はひたすら耐えるしかない、という訳ではなく、どうしても止めて欲しいことについて「あなたが実験しているということは理解するけど、その行為は好きじゃないな」という気持ちを伝えることはできます。一方的な押し付けではなく、一人の人間としての対話をするつもりで伝えると、子どもも考えてくれるようです。

4才を迎えると「社会性の芽生え」が始まります。「私」だけの認識だったものが、社会性が備わると「私とあなた」という人との関わりの中で自分が存在すると理解し始めます。この頃から他者の気持ちを考えて行動することができるようになっていっています。

このタイミングから幼児期の「自己実現感」の成長が始まります。

なんだろう・なぜだろうという疑問を持つ、あるいは、やってみようという行動への欲求がおこるなどして、それを解決するために自ら考え、選択し、時には友達のを借りたり真似をしたりして、最後までやり通したり、諦めたりします。これを何度も繰り返すことで自己実現感が育っていきます。

もっとも大切なのは「諦めることを許してもらえる」ことです。我々大人は「始めたことは最後までやり通さなくてはならない」と教育されていますので、なかなか諦めるのを許すことができません。しかしそれは「自分が好きなことを、自分でやろうと決める」ようになってからの話であり、これができるのは9才以降とされています。つまり保育園にいる子ども達はまだまだ「決めることの練習」をしているに過ぎません。

一度諦めたとしても、また後に（翌日かも知れませんが、1年後かも知れませんが）再び挑戦を始めるかも知れません。

何度でも挑戦し、諦め、また挑戦する、ということを何度も繰り返すことで、自分は途中で失敗したとしても目的を達成できるのだ、という自信を獲得します。この間に失敗を許してくれる大人の「無条件の愛情」は、自己肯定感を育てる時と同様、最も大切な条件となります。

自分の挑戦ができる子は、友人の挑戦を応援することもできるようになります。協力しあうことで一人では成し得ないことにも近づけることに気づくのです。

これらを踏まえ、今井保育園の保育を組み立てています。

子どもが自らを生きていていいのだと認め、疑問を見つけ解決しようとし、何度失敗したとしても諦めずに挑戦することができることを認識し、また友人と力を合わせて何度でも試行錯誤していく勇気を持てるようにしたい、と考えています。

もちろん、これらの事にもっとも大きな影響を及ぼすのは保護者様の存在です。保育園はあくまでその援助をするに過ぎません。また人間の発達にはまだ未知の部分が多いため、上記の内容は現時点で「確からしい」事を選択しているため、今後「より確からしいこと」が見つければ、変化するものでもあります。

慈しんで育てられているお子様たちと向き合い、その日々の成長を保護者様と喜び合えたらと思います。

それではこれから一年間、よろしくお願いいたします。

園長 橋本貴志

28年度がスタートしました。今年度もよろしくお願い致します。





～～朝ごはんを食べましょう～～

毎日を元気に過ごすためには、「規則正しい生活をする」
「朝・昼・夜の三食をしっかり食べる」ことが基本です。
気持ち良く1日をスタートさせるためにも、できるだけ朝ごはんを
食べるようにしたいものです。

朝ごはんの効果 **朝ごはんの6つの良いこと**

1. 目覚めが良い
エネルギー補給で体が目覚めます
2. 体に良い
昼のドカ食い・肥満防止になります
3. 頭に良い
ブドウ糖が脳の働きを良くします
4. おなかに良い
腸が刺激されて便通が良くなります
5. お肌に良い
ビタミン・ミネラルを摂るとなお良いです
6. 腹もちが良い
特にごはん食は腹もちが良いです



4月の行事予定

★21日(木) 誕生会

【時間】 9:30～
【会場】 園ホール



★月曜日から金曜日まで
予約なしで、保育園の遊びや行事
等にご参加できます。
(※詳細は、下記をご覧ください。)

5月の行事予定



- ♪ 10日(火) はなまつり
- ♪ 26日(木) 誕生会

絵本・紙芝居の貸し出し利用について

本の読み聞かせはお子さまの感性を豊かに育みます。どうぞご利用下さい。

- ★場所 園ホール後方
- ★貸出し期間 2泊3日
(貸し出し期間をお守り下さい。)
- ★貸出しノートに記入して下さい。

☆図書コーナーより 新刊本のお知らせ☆

- 『さくら』 『つくし』
- 『マーシャとくま』 『ねむりひめ』
- 『いっすんぼうし』 『ちからたろう』
- 『さんびきのこぶた』 『うらしまたろう』

28年度もお子さまの健やかな育ちを願って寄り添い、保護者のみなさまと子育ての楽しさや成長の喜びを共感し合い、子育ての支えとなれますように努めていきたいと思っております。ひろばで保護者の方の子育ての輪を広げて頂けたらと思っております。

安心して、お子さまが遊べる場所です。

保護者のみなさまも“ほっと、ひといき”つきませんか…。

いまいほいくえんのお友だちと一緒にあそびましょう！

ぜひ、『今井保育園☆ななくに』へお越し下さい。ご利用お待ちしております。



【今井保育園】

今井保育園 子育てひろば『ななくに』

【利用日】 月～金曜日の毎日(祝日を除く) (予約なしです。直接お越し下さい。)

【時間】 9:00～11:00 14:30～15:30

【会場】 保育園の園庭・保育室 【対象】 乳幼児と保護者

☆育児相談も随時受けております。

【お問い合わせ】 今井保育園 電話:0428(31)5856 FAX:0428(31)6665

